

品川支部

令和六年3月1日発行
〒141-0022
品川区東五反田1-8-5
Tel 3442-7075

3月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

能登半島大地震 拡がる支援の輪

元旦に発生した能登半島の大地震も、三ヶ月目と言う事で落ち着きは出てきたものの数千年に一度という地殻変動を伴った被害で道路状況が復興の作業の前に立ち塞いでいるとの報道がされています。中でもお道の災救隊は三日目には現地での作業に取りかかって、それ以来絶え間なく各教区が順番に支援物資を積んで入り、東京教区も二月の半ばには十次隊として出動しました。水の配水、片付け、炊き出し等、自衛隊に続く救援の団体組織として現地の方から絶大の信頼と感謝の言葉を頂いています。[神の立腹]というのは、教友に対する励ましの言葉と心の内に納め、家も仕事場も家族でさえ一瞬にして失った方々に少しでも笑顔を作ってもらえるよう寄り添い、手を動かし、あたたかい言葉と食べ物で希望を持って頂ける、他には無いお助けのボランティアです。この誇れる災救隊の活動が続けられるのは、今もそしてこれからも我々教友の心寄せによるところです。既に何度も協力頂いている事と感謝しながらも、更に先の永い活動を応援致します。



大鍋での調理



温かいご飯の炊き出し



給水・がれき片付け

☆支部行事のお知らせ

・支部幹事会

三月九日(土)午後六時〜
都南分教会にて

・支部例会

三ツ木分教会会場
三月三十日(土)十一時から

※ 二頁に詳細掲載

教区百四十年祭活動「みんなでのきしん」

神名流し、ゴミ拾いひのきしん

一日大井町駅前にて十時から
大井在宅介護センターひのきしん

二十七日九時半から

・教区ひのきしん

今月は櫻京組です

今月は五日、十七日両日です

☆教務支庁からのお知らせ

・立教百八十年東京教区創立記念祭

日時 四月四日 十時から

祭典講話 修養科主任 高井久太郎先生

終了後 多くの模擬店で楽しんで頂きます

*品川支部は焼きそばを担当致しますので
お立ち寄り下さい

☆能登半島地震災救隊支援

「支援金について」

能登半島地震では各教区隊が切れ目無く交代で出動、自衛隊の次に組織だった団体で現地で活躍しています

今回の支援金の募集は、本部、各教区からの見舞い金の外に、特に長期にわたる災救隊の活動に役立てる事を主目的にしています。是非皆様の心寄せ
お願い致します

「銀行振込の場合」

郵便局、ゆうちょ銀行からの振込

口座記号番号

00960151197968

口座名義 天理教災害対策委員会

他銀行からの振込みの場合

銀行名 ゆうちょ銀行

支店名 〇九九店 預金種目 当座預金

口座番号 0197968

口座名義 テンリキョウサイカイ

タイサクイインカイ

※受領証を希望は、災害対策委員会事務局まで
(表統領室室務課)

尚、詳細は天理時報 天理教ホーム
ページ等でご確認下さい

拠点教会	6日号	13日号	27日号20号合併
日本橋	直送	手配り	直送
本 荏	直送	手配り	手配り
南 泰	手配り	手配り	直送
三ツ木	手配り	手配り	直送
水豊田	手配り	直送	手配り

時報手配り三月予定

三月二十日号は休刊で
二十七日号と合併
になります

品川支部例会

令和六年三月三十日 (土)

場所 三ツ木分教会

(品川区西品川3-19-12)

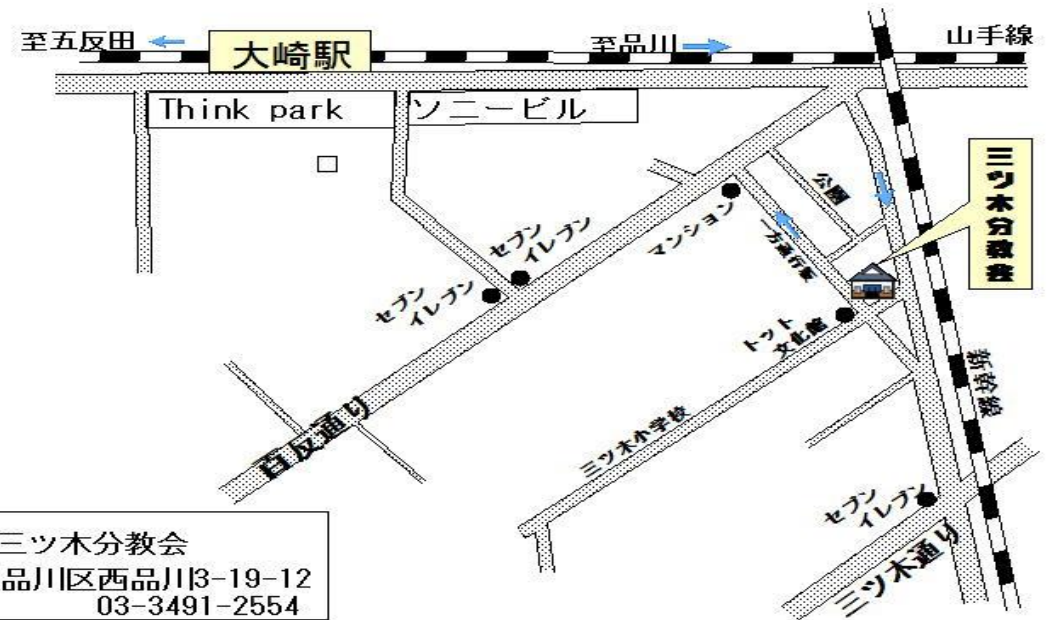
内容 座りづとめ よろづよ八首 三下目

支部連絡事項

当該山中教会長挨拶

昼食の用意頂いてます

* 各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)



目配り
気配り、心配り



私が教会長の理のお許しを頂いて六年目を迎え、教会長としての初めての年祭活動も二年目に入りましたが、振り返ると何をしていたのかと疑問符の付く通り方です。

昨年の秋季大祭で真柱様が、教祖の道具衆として、教祖のお心に溶け込んで、素直に実行し、たすけ一条に励むよう、また諦めることなく丹精するようと、改めて「諭達」に込められた思いを述べられました。また元日に起きた地震に対して、成人の鈍さに対する親神様の残念、立腹だともお諭し下さいました。まさに「この言葉通り、全く出来ていないと猛省するばかりです。」

蒲生の大教会会長様は、常々「人ごとを、我がごと」と仰られています。

私は後継者の時から引き続き、コンビニでアルバイトをしながら、御用をさせて頂いておられます。この数年のコロナ禍の状況で、社会が大きく変化し、人々の考え方も変わり、コンビニ業界も変化に対応すべく、お客様のニーズに合わせるさらなるサービスが求められています。しかし、コンビニが更に便利になる一方、サービスが多岐に渡り、複雑になり過ぎて、逆に使い切れていない、使い勝手が悪いというジレンマも抱えています。

私は一日に、四百人ぐらいの接客をするのですが、おひとりのおひとり、接客に一番に求めるサービスが違ってきます。スピードを重視するのか、きちっとした挨拶、言葉遣い、丁寧な商品の提供、扱いなどなど千差万別です。お客様を観察して、この方は何を求めている、何か分からない困っている事はないのかと感じ取れるように努めております。

そのようにして、相手の要望に合致した時は、お客様の方

から「ありがとう」の言葉を頂くことが多々あります。商品を買ってもらっているお客様に感謝されるのが、接客して一番嬉しいことです。先日もご年配の男性が、高額のプリペイドカードを購入しようとした時、よくニュースで見る特殊詐欺に思えたので、お話を聞いて、交番で相談されたからではどうですかと対応しました。すると後日、詐欺にあわず済みましたと、ご丁寧にお礼を言いに来られました。被害にあわず、我がごとのように嬉しく思いました。

「人ごとを、我がごと」に、まず、社会や自分以外の人の関心をもつことが大事だと思えました。そして何を考え求めているのか観察し、たとえ挨拶の一言だけでも、声かけが出来たら、次に繋がって行くのではないかと思います。「目配り、気配り、心配り」接客業における言葉ではありますが、お道を通る者にも通ずるものだと思います。

教会の信者の方はおちろん、地域の方々にもコンビニのようになられたらと思います。当教会は、今年の十二月に百周年を迎えます。先人の思いをしっかりと受け継ぎ、この年祭活動二年目を通り切り、百周年を期に、仕上げの年を迎えられるよう努めてまいります。

三ツ木分教会会長
山中清明

